

関西電力とWILLERがモビリティ事業において業務提携

2022年2月7日
関西電力株式会社

関西電力株式会社（以下、関西電力）とWILLER株式会社（以下、WILLER）は、次世代モビリティ事業および関連ビジネスの展開に必要な企画開発・実施に関する業務提携について、本日、合意しました。

国内では人口減少や少子・高齢化等に伴い、地域社会の維持が困難になることが想定され、交通分野では、持続可能である新たなモビリティサービスへの取り組みが必要とされています。

加えて、その実施にあたっては2050年のゼロカーボン社会の実現に向け、モビリティの電動化や再生可能エネルギーの活用等に対する社会の期待が高まっています。

WILLERは、バスや鉄道等の移動サービスにITマーケティングシステムを導入し、移動に新たな価値を創造してきた実績があります。その中でもエリア回遊型移動サービスである「mobi」については、今後、ゼロカーボン社会の実現に向け車両の電動化について検討を進めてまいります。

また、関西電力は、モビリティサービスにおいて、再生可能エネルギーやワイヤレス充電等のエネルギー供給および最適化マネジメントのシステムを開発するなど、エネルギーとモビリティを組み合わせたビジネスの検討を推進します。

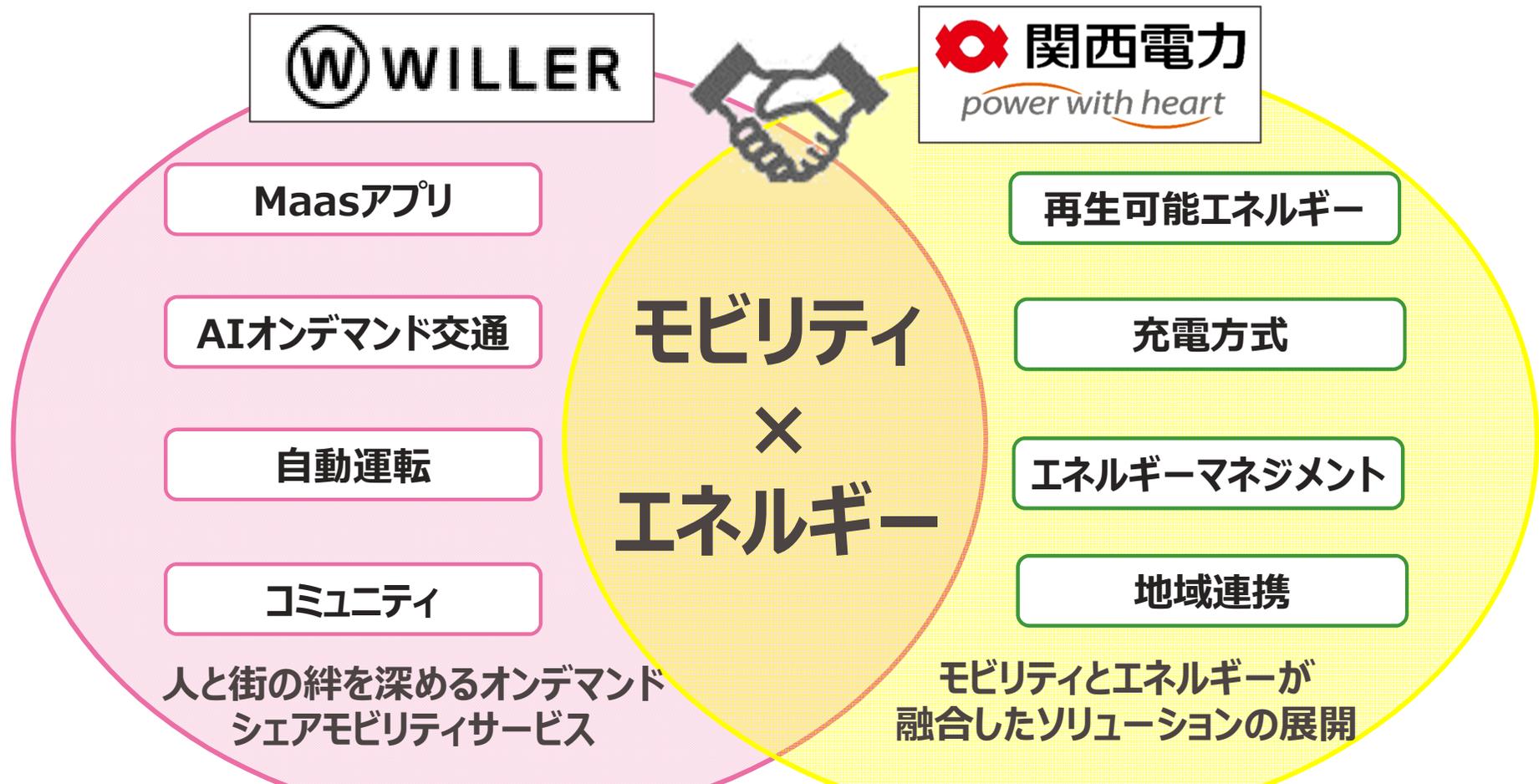
両社は、次世代モビリティ事業および関連ビジネスの開発・実施を進め、持続可能な移動サービスの創出・普及およびゼロカーボン社会の実現に貢献してまいります。

以上

添付資料：WILLER株式会社とのモビリティ事業における業務提携について

WILLERとの業務提携について

- WILLERおよび関西電力は両社の強みを生かし、モビリティとエネルギーを組み合わせた新たなサービスの開発に向け、業務提携いたしました。
- WILLERはゼロカーボン社会の実現に向け、エリア回遊型移動サービスである「m o b i」の車両の電動化を検討いたします。
- 関西電力は再生可能エネルギーの活用、充電方式およびエネルギーマネジメントの開発など、モビリティの運行とエネルギー供給の最適化に向けて検討いたします。



モビリティとエネルギーを融合した新たなサービス等の展開を目指す